

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆後期高齢者医療の現役世代負担、最高の7.1兆円 23年度

・厚生労働省は75歳以上の後期高齢者医療制度の2023年度の財政状況を公表。主に現役世代が担う交付金が7兆1059億円と前の年度から6.1%増え、3年連続で過去最高を更新。75歳以上の人口が増え、現役世代の負担が一段と膨らんだ。23年度の後期高齢者医療制度の全体の支出は17兆7989億円と4.3%増え、過去最大だった。

◆求人広告7月0.4%増、積極出稿に息切れ感 正社員向けは減少

・人材サービス会社でつくる全国求人情報協会が発表した7月の求人広告件数(週平均、職種別集計)は、前年同月比0.4%増の225万3532件だった。広告を続けても十分に人材確保できず、積極的な広告出稿に息切れ感が出ている。全求協が主要各社のネット媒体の求人広告件数を集計。増加率は縮小傾向で、7月は微増にとどまった。

◆7月の百貨店売上高、6カ月連続減少 免税客数・単価の減少続く

・日本百貨店協会が発表した7月の全国百貨店売上高は、前年同月比6.2%減の4683億円と6カ月連続で前年を割った。訪日外国人客の高額消費が一巡し、免税売上高は36.3%減の403億円と5カ月連続の減収。免税購買客数は16.7%減の47万6千人で、10カ月ぶりに50万人を下回った。国内売上高は1.8%減で6カ月連続のマイナスだった。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆国交省、「改正建築基準法」の説明会を開催 全国9カ所で

・国土交通省は9月12日から「改正建築基準法」のポイントを解説する説明会を全国9カ所で開催。4月の「改正建築基準法」の施行により、2階建て木造一戸建て住宅などで建築物の大規模修繕や模様替を行う際に、建築確認手続きが必要となったことを受けて実施するもの。時間は各会場とも14～17時(予定)。

◆建設業、人手不足が最も深刻に 不足感68%超、猛暑で作業効率も悪化

・帝国データバンクが公表した「人手不足に対する企業の動向調査(2025年7月)」によると、正社員が不足していると回答した企業は50.8%となり、3年連続で半数を超えた。業種別では「建設」が68.1%と最も高く、深刻さが際立った。今年の猛暑による作業効率低下なども人手不足感をさらに強めていることも明らかに。

◆国産木材の需要拡大を 東京都の小池知事が国に要請

・全国知事会の国産木材活用プロジェクトチームのリーダーを務める東京都の小池百合子知事は小泉農相と阿部文部科学相とそれぞれ面会し、国産木材の需要拡大に向けた提言を手渡した。民間建築物の木造化を推進するため、木材・木材製品の輸出拡大に向けた取り組みの促進、国産木材を利用した住宅新築の支援強化も盛り込んだ。

《 注目商品 》

■ウッドワン、無垢の木のキッチンに国産材の桧を追加 「su:iji(スージー)」

・家具のような無垢の木のキッチンに、12年ぶりの新樹種として国産材の桧(ヒノキ)の扉をラインナップ。ニュージーパイン、オーク、メープル、ウォールナットに桧を追加し、全5種類となった。扉には、水や菌に強い国産の桧の柃目で無節の材を採用。



■トソー、設置場所を選ばない新しい室内干し「ランドリーバーLB-1」

・使わない時は吊りポールをワンタッチで簡単に取り外すことができる設置場所を選ばない室内物干し。設置もブラケットを取り付けるだけの省施工。ブラケット、吊りポール、本体バーを同色で仕上げた一体感のあるデザイン。「ゆれピタ機能」を搭載。



■コイズミ照明 京都西陣の「引箔」を生かした照明9機種

・和空間に合う照明シリーズ「Japan Minimal(ジャパン ミニマル)」に新たに9機種をラインアップ。京都・西陣で受け継がれてきた「引箔」の表情を生かしたペンダントライトを6機種追加。曲面形状のセードに手作業でほどこした箔が空間を華やかに演出。

